

国連SDGs×イバラキ

教育・研究

地域交流

国際交流

代表者：人文学部人文コミュニケーション学科 3年 小泉 咲綺

連携先

- ・つくば市役所
- ・Santi Sena
- ・持続可能な開発・みえ

顧問教員

野田 真里（人文社会科学部・准教授）

参加者

- 渡辺 悠（人文学部人文コミュニケーション学科 4年）
- 千葉はづき（人文学部人文コミュニケーション学科 4年）
- 飯島 千尋（人文学部人文コミュニケーション学科 4年）
- 岩城 彩花（人文学部人文コミュニケーション学科 4年）
- 菅原ありさ（人文学部人文コミュニケーション学科 4年）
- 甲 香菜子（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）
- 佐々木優夏（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）
- 青柳 玲美（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）
- 坂本 咲（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）
- 佐藤 美穂（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）
- 河野 愛加（人文学部人文コミュニケーション学科 2年）

高瀬 日菜（人文学部人文コミュニケーション学科 2年）

佐々木春奈（人文学部人文コミュニケーション学科 2年）

杉原 莉紗（人文学部社会科学科 2年）

郡山 葵（人文社会科学部現代社会科学科 1年）

プロジェクトの概要

●立ち上げの背景

顧問教員である野田先生の授業を受けてSDGsの重要性や認知度の低さを知ったメンバーが、自分たちの力でSDGsを広めようと考え2017年5月にプロジェクトを結成した。

●国連SDGsとは

SDGsは“Sustainable Development Goals”（持続可能な開発目標）の略称で、「エス・ディー・ジーズ」と読む。2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するため17のゴール、169のターゲットから構成されている。現在では、日本でも多くの自治体や企業が注目し、SDGsに対する取り組みを進めている。

●活動の目的

以下の2つを目的として活動している。なお、今年度は目的①に重点を置いて活動することとしていた。

①参加メンバー自身がSDGsについての正確な知識を身に付け、SDGsを学内や地域に広められる人材となること。

②参加メンバーが主体となってSDGsを学内や地域にSDGsを広めること

●連携の方法・内容

顧問教員のもつネットワークを通じて各連携先に連携の依頼をした。随時メンバーが各連携先に出向いてプロジェクト運営についてのご助言やSDGsについてのご教授をいただいた。

プロジェクトの成果報告

●今年度の活動

①講演会・フィールドワークの実施

メンバーがSDGsについての理解を深めるため、様々な分野の専門家を招聘し講演会を行った。また、銚田市にて「持続可能な食と農」というテーマでフィールドワークを行った。これらの講演会、フィールドワークについては、メンバー以外の学生にも呼びかけ、一緒にSDGsについて学んだ。



フィールドワークでの訪問先
JA茨城旭村 農業協同組合にて

講演会のテーマ：お越しいただいた先生)

・2017年5月24日

「プロスポーツによる地方創生」：サイバー
デザイン茨城ロボッツ 山谷拓志代表

・2017年6月7日

“Globalization and Eco-Tourism:
Sustainable Development in Myanmar”
：MGET 藤村健夫代表



藤村先生と



藤村先生によるワークショップの様子

・2017年7月19日

「グローバル化と子育て・教育」：茨城県高
等学校PTA連合会会長 鷺田美加様

・2017年10月31日

「持続可能な生産・消費とフェアトレード」
：Kurata Pepper 倉田浩伸代表

- ・2017年11月1日
 “SDGs and African Environmental Policy”
 : Abe Initiative奨学生 Diallo Mamadu氏



Mamaduさんと

- ・2017年11月29日
 「資本主義世界は持続可能か？ SDGsの核心とギマン」：森川文人弁護士
- ・2017年12月12日
 「難民と人間の安全保障、日本における国際人権保障の実態のある側面」
 : 駒井知会弁護士

②SDGsを広める活動

学内で開催された行事に参加し、SDGsを広める活動を行った。

- ・オープンキャンパス (2017年7月22日)



高校生に向けたSDGs紹介の様子



企画 “MY SDGs宣言”

高校生と保護者に向けて、SDGsの紹介をした。“MY SDGs宣言”という企画では紹介を聞いてくれた方に、SDGs達成のために自分で取り組みたいことを宣言してもらった。

- ・茨苑祭での出店 (2017年11月11・12日)
 連携先であるSanti Sena (カンボジアのNGO) を通じてフェアトレードでストラップを入手し茨苑祭で販売した。売り上げは全額Santi Senaを通じて現地の女性と子供に寄付をした。出店に合わせてSDGsの紹介やプロジェクトの活動紹介なども行った。



出店の様子

- ・茨城国際会議（2017年11月18日）
参加者に向けてSDGsやプロジェクトの活動について英語で発表した。



発表の様子

③プロジェクトの周知活動

Facebookページを作成しプロジェクトの活動報告や講演会の宣伝などを行った。また、オリジナルのロゴマークが入った缶バッジを作成し、活動に興味を持ってくれた人にお配りした。



オリジナルのロゴマーク

●プロジェクトの成果

プロジェクトの具体的な成果として、Facebookページのフォロワー数が100人となった（2018年2月9日現在）ことが挙げられる。また、活動に注目して頂きラジオにも出演させていただいた。（2017年12月30日12:00~12:15茨城放送ラジオ「青春インタビュームービングなう！」）



ラジオ出演の様子

メンバーによる活動の振り返りでは、目的①に応じた活動により、メンバー自身がSDGsを広めるのに必要な知識を身につけることができ、たという意見が多くあった。また、活動を通して幅広い年代の多くの方と関わらせていただくことで、改めてSDGsの認知度の低さを感じることが出来たのも一つの成果である。合わせて、活動を通じて連携先以外の新たなネットワークを構築できたのも大きな成果であった。

●今後の展望

今後はSDGsを学内や学外に広める活動を積極的に行っていききたい。具体的には、SDGsについて地域の方々と学ぶ勉強会やワークショップなどをメンバーが主体となって開催できるようにしたいと考えている。

今後の課題としては、メンバーの確保が挙

げられる。メンバーには3・4年生が多いため、1・2年生を集めて活動が持続できるように努めたい。また、メンバーの多くが人文学部および人文社会科学部であることも課題である。SDGsは様々な分野から構成されるため、文系・理系を問わず多様な知識や考え方を持つ人材が必要となる。他学部のメンバーも集められるとより良いプロジェクトとなると考えている。